



○ 農地・水・専門員の新設と現地指導専門員を増員

今年度農地・水保全管理支払交付金の予算は、共同活動支援交付金 8 億 2 千 6 百万円と平成 23 年度創設された施設の長寿命化対策を行う復旧活動支援交付金 12 億 3 千 7 百万円を合わせ、20 億 6 千 3 百万円（526 組織）となり、今後は施設の長寿命化対策への取組みが増えることが見込まれています。

このような中、当協議会では今年度から県や市町村の調整担当として農地・水・専門員を 1 名設置すると共に、施設の長寿命化対策に向け、これまで以上に活動組織に対する技術的な指導や契約・経理面での指導強化を図るため、現地指導専門員を 1 名増員し 2 名といたしました。

現地指導の区分けは、東現地指導専門員が県北部から県中部、沿岸北部を、小山現地指導専門員が県南部と沿岸南部を担当し、みなさんの支援にお伺いします。

また、平成 25 年度の各活動組織に交付する第 1 回交付金は、年度交付金額の 30% を 6 月以降に順次送金していく予定となっております。



【千田 農地・水・専門員】

千田 良文（ちだ よしふみ）氏略歴
昭和 47 年岩手県に入庁し、農業農村整備事業の調査計画をはじめ、かん排施設や農道、海岸堤防など県営工事の実施、災害復旧事業等の指導に携わる。

平成 22 年 3 月二戸農村整備室を最後に退職し、その後、民間会社に 2 年間勤務。



【小山 現地指導専門員】

小山 隆一（おやま りゅういち）氏略歴
昭和 45 年岩手県に入庁し、県内各地の農業農村整備事業実施に長年携わる。

平成 22 年 3 月一関農村整備室を最後に退職。
その後、一関市役所で震災復興事業に携わり平成 25 年 3 月退職。

○ 現地指導専門員を活用下さい

当協議会では、昨年度から、活動組織の広域化や施設の長寿命化に取り組む活動組織を支援するため現地指導専門員を設置し、活動組織の運営に関する様々な支援を無償で行っています。ぜひご利用下さい。

具体的な支援例は以下のとおり

- 1 活動組織の広域化への助言、保全組織の運営指導（広域化）
 - ・事務運営の助言、研修会の講師 等
- 2 施設の補修・更新に関すること
 - ・補修工法の選定の方法や水路断面決定の方法について 等
- 3 工事の実施方法について
 - ・工事を外注するときの契約方法や自力施工する場合の進め方と留意点について 等
- 4 工事の施工管理と出来形管理
 - ・施工管理方法や効率的な出来形管理方法について 等
- 5 経理や関係書類作成の事務指導
 - ・金銭出納簿や活動記録、実績報告書や交付申請の作成方法、記録写真の撮り方 等

現地指導専門員への依頼はこちらまで

最寄りの広域振興局・市町村の担当者、又は
 岩手県農地・水・環境保全向上対策地域協議会
 現地指導専門員 東 洋明（あづま ようめい）
 Mail y-aduma@iwatochi.com



○ 地域協議会 担当紹介

事務局長	田中 舘一人	(土地連水土里情報・資源保全推進室 室長)
事務局員	岩渕 淳哉	(岩手県農林水産部農村建設課 主査)
	佐藤 紀子	(// 主任)
事務員	高橋 隆彦	(土地連水土里情報・資源保全推進室 主査)
	出口 貴博	(// 主査)
	山澤 悟	(// 主任)
	千田 良文	(// 農地・水・専門員)
	東 洋明	(// 現地指導専門員)
	小山 隆一	(//)

※次回は、制度拡充の内容についてお知らせいたします。

【お問い合わせ先】 岩手県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局
 (岩手県土地改良事業団体連合会内)

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮 2-10-1

TEL 019-631-3207 FAX 019-631-3260